NEWSLETTER

2021.4.2. No. 4

CONTENTS

- ◆ 奨学生認定証授与式および大学合格祝賀会
- ◆ 2月オンライン交流会
- ◆ 2020年度3月奨学生レポート



2020年度大学合格祝賀会にて



Frances and Sachio Semmoto Foundation

■奨学生認定証授与式および大学合格祝賀会

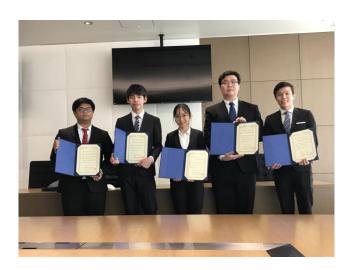
2021年3月23日(火)に奨学生認定証授与式を都内会場にて開催しました。認定証授与式では、新たに奨学生として認定された第3期生、継続して奨学生として認定された第1期生および第2期生に認定証が授与されました。

また、新たに大学進学が決定した第3期生の合格を祝福し、大学合格祝賀会を開催致しました。大学合格祝賀会には全12名の奨学生の他、千本代表理事、小林理事、事務局スタッフが参加しました。新型コロナウイルス感染の影響を受けて、京都在住の第2期生の2名はオンラインで参加となりました。

大学合格祝賀会では第3期生には自己紹介、将来の夢、趣味、大学進学の抱負を発表して頂きました。第1期、第2期生には自己紹介、将来の夢、2020年度の振り返りと2021年度の抱負、第3期生へのアドバイスを発表して頂きました。



千本代表理事から第3期生に認定証の授与



第3期生の集合写真



第2期生の集合写真 (内2名オンライン参加)



第1期生の集合写真

□新しい奨学生(第3期生)のご紹介



CHIN TECK CHING/チン テク チング (マレーシア) 茨城大学 工学部 物質科学工学科 1年生

私は未来に向かって発展し続けるため、低環境負荷の材料開発が欠かせないと思っています。地球温暖化で一番注目すべき環境問題だと思います。そのため、水素を利用して電気を作る燃料電池について研究をしたいと思います。化学物質に関する合成、分析、加工などについて深く研究したいです。私は特に水素エネルギーを効率的に利用するための材料の研究と開発にチャレンジしたいと思います。



LEON ADITYO HARTANTO/レオン アディティオ ハルタント(インドネシア) 明治大学 理工学部 応用化学科 1年生

私は将来科学者になり、電池について研究し、新たな電池を開発したいです。 そのために、大学で応用化学を学ぶことにしました。4年生になったら、 渡邉 友亮教授の研究に取り組みたいと思います。渡邉教授の研究は環境にやさしい 材料創造をめざすという研究テーマです。そこで私は現在より良いリチウムイ オン電池の開発に力を入れたいと思います。なぜなら、今より効率が良い電池 を作れば環境も改善できると思うからです。



HA THI TRA MY/ハ ティ チャ ミー (ベトナム) 東洋大学 経済学部 国際経済学科 1年生

私は世界の貿易問題や需要と供給の関係などに興味があるので、大学で経済学の勉強をしたいと思います。大学を卒業した後はベトナムと日本に関係がある貿易会社に就職し、日本人の考え方や働き方を学びたいと思います。そして、日本で経験を積んだ後は帰国して自国に限らず、アジア各国で活躍できる国際的な人材になりたいです。また、私は世界の困っている人を助けるための団体を作りたいです。



ALFRED NGU YOK FEI/アルフレッド ウー ヨク フェイ(マレーシア) 法政大学 生命科学部 応用植物科学科 1年生

私は将来学部を卒業し大学院で植物の伝染病の拡散防止について研究して、それに関する研究職に就きたいです。その職に必要な知識を得るために、植物医学科の技術を学べる植物クリニカルコースで、植物病因の防除手法を具体的に学べる植物病防除学や、植物病媒介生物の一つとしての害虫の基礎知識を学べる基礎植物害虫学も学びたいです。



MAHESA PAMUNGKAS SUGIHARTO/マヘサ パムンカス スギハルト (インドネシア)

明治大学 経営学部 経営学科 1年生

私は日本の文化、具体的には日本のエンターテインメントをさらにインドネシアに広げたいと考えています。インドネシアのエンタメは単に娯楽だけだと思いますが、日本のエンタメは人々に何かを教えてくれる要素があると思います。この良さを私は将来、インドネシア、さらに海外に広げたいと思い、日本のエンタメをビジネスの視点から勉強したいです。

■オンライン交流会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2021年2月に予定していた親善旅行を中止しました。その代替として、2021年2月18日(木)にオンラインで奨学生と交流会を行いました。

出席者は、第1期生3名、第2期生4名、千本代表理事、小林理事と事務局2名のあわせて11名でした。オンライン交流会では下記のテーマについて、奨学生がそれぞれ意見を交換しました。

【テーマ】

- ①コロナ禍で部屋にいる時間が増えました。部屋での過ごし方や新たに始めたことについて教えてください。
- ②これから春休みになりますが、皆さんの春休みの過ごし方について教えてください。
- ③コロナ禍であまり知られていない母国・地元の情報について教えてください。
- ④日本語以外の言語を忘れないためにどんな工夫をしていますか。
- ⑤大学ではこの1年、どのように勉強していましたか。

オンライン交流会の感想の抜粋は下記の通りです。

LIM AN QI(マレーシア)京都精華大学 マンガ学部 アニメーション学科 2年

オンライン交流会はすごく面白かったです。みんながシェアした内容の中に初めて耳にした情報もあり、同じくマレーシア出身のタンさんとチャさんもマレー語を少しずつ忘れていることを経験しているのを知った途端、「仲間ができた!」と強く感じました。そして時間内にみんなの質問に全部触れて、最後に余った時間でQ&Aタイムもできたので、交流会の時間の長さはちょうどいいと思います。今回使った話題は奨学生から集めたものでしたが、次回の交流会では千本財団の方々が気になっている話題も取り上げて、みんなで一緒に討論するのも楽しそうだと考えております。

CHEAH JIA YI(マレーシア)東京農業大学 生命科学部 分子生命化学科 2年

オンライン交流会ではみんなの近況を知ることができてとても面白いと思います。他の人の話を聞いて自分もしてみたいと思ったこともありました。また、資格のことや日本の企業が求めていることなどについても聞くことができました。最近大学でも就職で必要なESの書き方や自己分析の講座があって日本の企業は自分と知っていたものとは違い人材育成についてとても重視していますのでもしまた機会がありましたら日本の企業の話についてもっと聞きたいと思います。

VU KIM QUANG (ベトナム) 東京理科大学 工学部 機械工学科 3年

オンライン交流会は楽しかったと思います。奨学生同士で話し合って、情報交換ができ、自分以外の性格、人柄が以前より分かり、皆さんの地元の状況についても知ることができました。皆の話を聞いて、コロナウイルスの影響で大変になったのは皆同じだということを改めて分かりました。そして、先生からの資格と就職についての話も聞けて良かったです。自分も知り合いにいくつかの資格を勧められ、大学での勉強をしながら資格の勉強も同時にするかどうか悩んでいましたが、先生の話を聞いて今年は資格より自分の勉強に集中すると決めました。今回の交流会の話題は情報交換の目的としては面白いと思います。普段皆はどう過ごしているのか皆の話した内容から想像することができ、自分の過ごし方と比較し、皆から学んで自分の専門をもっと勉強したりや本を読む習慣をつけようと思いました。時間については少し短いと思います。もう少し時間があれば、皆がもっと気軽に話すことができ、先生からの話ももっと聞けるのではないかと思います。

■2020年度3月奨学生レポート(1期生~2期生)

①2020年度の振り返りと2021年度の抱負(勉強面)②2020年度の振り返りと2021年度の抱負(勉強面以外、生活面)

神奈川大学 理学部 数理・物理学科 3年

①2020年度は私にとって複雑な1年でした。新しいことを多く学べたと同時に何も学べず1年が経った感じもします。大学にいるときは、「帰りたい、明日大学行きたくない」と思っていましたが、いざ1年間大学に行けず家でオンライン授業を受けると、「やっぱ大学行きたいな」と思うようになり、大学で授業を受けることがどれだけ大切かを改めて感じました。 2021年度は3年生になり授業内容もより専門的になりますが、2年生の時に学んだことを活かせるかどうか少し心配です。しかし、2020年度に起こったことを一つの経験とし、励んでいきたいと思っています。

②はじめて緊急事態宣言が発令されたとき、もともとあまり外出するのが好きではない私は楽勝だと思いました。しかし、時間が経つにつれて、ストレスを感じるようになった気がします。家にいるのが窮屈になり、それをきっかけに、運動も兼ねて家の周辺を散歩することが多くなりました。 2020年は母国にも帰れず、家族も日本に来ることができなくなりました。今年はどうなるかまだ確かではありませんが、無駄に過ごさず毎日を送りたいと思います。

TAN ZU SHENG/タン ズー シェン (マレーシア) 山梨大学 工学部 コンピュータ理工学科 3 年

①二年次は、今思い返したら、授業中に集中が切れてしまうことが結構ありました。家にいることでついリラックスしてしまうこともあると思いますが、やはりきちんと授業に集中しなければならないと思います。一年上の先輩によると、三年次の授業が結構難しいようで、気を抜くと単位を落とすことになるらしいです。そのため、三年次は気を付けて、授業に集中するようにします。また、将来専門的な仕事に就きたいので、資格を取ることが就活の時に役立つと思います。四年次になる前に資格試験に合格したいと思います。

②2020年度はコロナのせいであまり家から出ず、体も動かすことなく、毎日家に引きこもっていました。外出の頻度をできるだけ控えるようにと大学側に言われていますが、やはり毎日家にいると体の運動もあまりできないので、マスクの着用や消毒など衛生管理に気を付けつつ、定期的に外出し体を動かしたいと思います。家での軽い運動も考えています。また、毎日家にいると、試験の勉強や課題をすること以外にやることがなければ結構退屈な日常を送ることになってしまうため、そういう時にできることを考えていきたいと思います。

VU KIM QUANG /ヴ キム クァン(ベトナム)

東京理科大学 工学部 機械工学科 3年

①2020年ではコロナウィルスの影響で、学校に行って、授業を受けることができず、ほとんどの時間は部屋でオンライン授業を見ることしかできませんでした。授業を受けたという実感はあまりありませんでしたが、移動の必要がない分、復習や予習に使える時間が増え、授業によっては学校に行くことより、オンライン授業の方が内容をしっかり理解できると思います。今年は3年生になり、去年や1年生の時より授業数が増え、内容もより難しくなりますが、しっかりと勉強し、自分が満足できる結果を出せるように頑張りたいと思います。特に、機械設計に関する科目には力を入れて勉強したいと思います。

②2020年ではコロナウィルスの影響で、外出できないため、部活だけではなく、普段から個人で外でする運動も出来なくなりました。そのために、部屋でも気軽にできる運動をインターネットで検索し、自分に合う運動を毎日するようにしています。今は少し外出できるようになりましたので、週1回くらい知り合いと集まり、フットサルをしています。これからも毎日運動し、栄養バランスがいい食事と休みをしっかりと取るようにしたいと思います。部活に関してはあまり活動できないため、新人の部員がおらず、さらに先輩の卒業が重なり、部員数が少ないです。そのため、今年は部活動の面では、新人部員の勧誘と部活の運営に頑張りたいと思います。

CHEAH JIA YI/チャー ジャ イー (マレーシア) 東京農業大学 生命科学部 分子生命化学科 2年

①2020年は新型コロナウイルスが流行っていて例年とは違い入学式やガイダンスなどはありませんでした。大学の講義もオンラインに変わって自分だけではなく、先生たちも不慣れな所がたくさんありましたので最初は授業に集中し、ついていくことに苦労しました。今年は2年生になって専門科目も増えますが今まで勉強した物の続きもありますので自分が去年勉強したものを活かしながらより良い成績をとりたいです。それだけでなく、前学期では実験レポートが大変でしたが先生からもコメントがありましたので、それを振り返り自分の実験レポートを改善していきたいです。

②2020年ではサークルや部活は活動中止になっただけでなく、大学の収穫祭も中止になりました。色々なイベントに参加する機会がなくて空いている時間はアルバイトをしていました。新しいバイトが始まって色々な人と知り合うことができましたが大学のイベントに参加できなかったのが残念でしたので2021年の授業が始まってまたサークルや部活が活動し始めたらバイトの時間を減らして大学のイベントに参加したいです。自分の学部の人たちだけでなく他の学部の人たちや他の留学生とも会って色々な思い出を作りたいです。

MELLISA ARDELIA/メリサ アルデリア (インドネシア)

東京理科大学 理学部第一部 化学科 2年

①提出物が非常に多く、その管理が難しかったので、今年度は提出期限やその詳細についてよりこまめに管理していきます。前期は教養科目の成績が良かったのですが、化学関連のはそれほど良くなかったです。それに引き換え、後期は逆で、化学関連科目の方が成績が良かったですが、全体的に成績が下がってしまいました。今年度はバランス良く専門科目にも教養科目にも時間を振ります。無駄に単位を多く取得しようとせず、必要な科目と本当に興味のある科目だけをきちんと受講します。

②日本に来てからあまり弾かなくなったバイオリンをまた習おうと思っています。夜中には練習できませんので、練習する時間を確保できるかどうかはちょっと心配なんですが、それでもまた弾いてみたいので練習できるように調整します。また、昨年度ろくにできなかった部活を今年度こそちゃんとやりたいです。よく練習して、大会に出る時、せめて恥をかかないように頑張ります。普段の授業の他、部活等もやりたいので、このままアルバイトをしていくと大変なことになりそうです。そのため、アルバイトの時間を減らそうと思っています。

LIM AN $OI/U \rightarrow T \rightarrow T \rightarrow T$

京都精華大学 マンガ学部 アニメーション学科 2年

①2020年にコロナウイルスの影響により様々な変化があり、人生初めてのオンライン講義を体験しました。すごく新鮮でしたが、フィードバックなどがもらえず、「惜しいな」と思う事もありました。しかしその分、時間に余裕ができました。指定された時間以内に課題が全て出せた上に、自習時間も普段より多かったです。これがオンライン授業にしかできない良い点だと思います。後期に入ったら、対面授業とオンライン授業の割合が半々になり、ようやくクラスの皆や先生方と会えました。そして、前期の経験を活かしてより上手く時間を分配し、効率的な大学生活を送ることが出来ました。今年もこの様な要領でやっていきたいと思います。ストップモーションの授業は抽選科目のため、専攻できない可能性もありますが挑戦します。もし専攻できましたら、粘土や木材などを動かし、様々な作品を作り出したいです。

②学生寮に入れてよかったです。たった一年間だけでしたが、多様な国からの寮生と友達になり、様々な体験をして楽しく過ごすことが出来ました。同じ寮生の日本人のほとんどが関西人という事もあり、関西弁を学び、私も日常会話によく使っていますが、いざと言う時に「標準語で喋らないと!」という危機感を感じて日本語の勉強も続けています。3月の月末に新しい所に引っ越すため、今は荷物の片付けをしつつ、新居で必要な家具や家電なども探しています。大学生活は少し慣れたと思うので、2回生になったらアルバイトを始め、少しずつ貯金をしようと思っており、春休みの間にもアルバイトを応募しています。

NGUYEN BAO HUNG/グエン バオ フン(ベトナム) 同志社大学 商学部 商学科 2年

①勉強面から見ると、2020年度は大変な一年でした。新入生のオリエンテーションも中止され、教授方、先輩方と相談することができなかったので、科目登録、大学のオンラインシステムの操作、時間割作成などは全部自分で調べなければなりませんでした。困っていた新入生が数多くいたと思います。しかし、コロナに負けずに、私は勉強を一生懸命頑張りました。時間を厳しく管理することによって、未受験のテスト、未提出の課題とレポートなどが一切なく、自分の希望に達したとは言えませんが、成績は悪くなったです。大学生活が実感できなかったとは事実ですが、コロナだからこそ様々なスキルが身に付けられました。

二年次の2021年度に向けて、計画を立て準備を進めております。今年度、三つの目標が立てられました。一つ目はC以下の評価と未受験のテスト、未提出の課題とレポートなどがないことです。二つ目はもう一つの資格を取ることです。三つ目は秋学期から自分に合ったゼミに入ることです。一年次と比べると、専門科目が多くなり、内容も難しくなると思いますが、より頑張ります。

②生活面から見ると、2020年度は我慢の一年でした。大学の一年次は大学生活を楽しむ期間だとよく言われますが、去年はコロナで春学期の講義がオンラインとなり、キャンパスへの入構が厳しく制限されました。せっかく試験に頑張り、ようやく入学ができたにも関わらず、多くの行事が中止となり、キャンパスに行く機会がなかったとは、私だけではなく、同年度の多くの新入生にとって非常につらかったです。バイト先も、コロナで売上が急減したため、シフトが大きく削減されました。財団からの支援のおかげで、経済的な困難は特にありませんでしたが、転職を決めました。 2021年度には、新しいところに行って、新しいことを体験したいと思いますが、コロナがいつ収まるかどうかは、誰でも分かりませんので、コロナが早く終息することを願うしかできません。しかし、自分はコロナに負けず、勉強でも、バイトでも一生懸命頑張ります。

■2020年3月奨学生レポート(3期生)

①大学進学にあたっての抱負(勉強面)、②大学進学にあたっての抱負(生活面、 キャンパスライフの過ごし方など)

CHIN TECK CHING/チン テク チング (マレーシア)

茨城大学 工学部 物質科学工学科 1年生

- ①専門分野の勉強を頑張っていきたいです。
- ②新たな交友関係を築き、勉強、サークル、バイト全部両立させて充実させていきたいです。

LEON ADITYO HARTANTO/レオン アディティオ ハルタント (インドネシア)

明治大学 理工学部 応用化学科 1年生

①科学者になるためには大学院まで勉強しなければなりません。自分が興味を持っている分野に長い時間をかけて、知識をもっと深める必要があります。ですので、私の夢をかなえることは簡単ではありません。大学ではまず理論を中心に学ぶことができるため、私にとってとても重要だと思います。そして、私は両親を尊敬しています。私が今学んでいられるのは二人のおかげですので、両親の期待にしっかりと応えたいです。

②日本の大学に進学するためには日本語を勉強しなければなりません。私は2019の初夏に日本に来て、ゼロから日本語を学んでいました。その時私の友達はすでに大学に入り、大学生活を送っていました。私は早くそれを感じたいです。そして、大学では勉強だけではなく、様々な組織やサークルに入ることができますので、高校の時より様々な人と会って、人間関係を深めたいです。社会に入るためには知識だけではなく広い人間関係も重要です。社会に入ってから、信用できるビジネスパートナーを見つけるのは難しいと思うので、友達作りや幅広い人間関係を作ることは大学でしかできないと思います。

HA THI TRA MY/ハ ティ チャ ミー (ベトナム) 東洋大学 経済学部 国際経済学科 1年生

①大学では勉学に励みたいと思います。様々な知識を身につけたり、役立つ資格を多く取ったりすることを目指して努力したいと思っています。また、自分は英語の会話力がまだ十分でないので、これを確実にマスターしたいです。想像力やコミュニケーション能力なども積極的に養いたいと思います。②大学では勉学以外、サークル活動、ボランティア活動、年間行事などを積極的に参加して様々な人と交流したいです。今まで体験したことがないことにチャレンジして、新しい経験を得て新しい自分を見つけたいと思います。さらに、自分の苦手な物を克服し、得意なことを伸ばし、充実した大学生活を送りたいです。

ALFRED NGU YOK FEI/ \mathcal{P} $\mathcal{P$

法政大学 生命科学部 応用植物科学科 1年生

- ①理系は大学で専門分野を学ぶところなので、一年生の時の必修科目が多いです。そして、一般入試と留学生入試を経験して、日本人が受ける入学試験は難易度の高さを知ったので、これからは大学の授業の予習と復習ができるように、時間を大切に使いたいと思います。一年生で必修科目の知識を定着させれば、未来に役に立つからです。
- ②去年末から今まで塾や引っ越しのやり取りで日本語をたくさん話しました。自分自身で日本語会話能力の成長を感じるとともに周りの人からも成長していると言われましたし、日本語を話すことに自信を持つことができて、人との会話が好きになりました。コロナが終息したら暇な時間を使って、サークル活動を通して会話のチャンスを作りたいです。また、私は外食をできるだけ減らして、一日2回ぐらい自炊しようと考えています。自分でご飯を作ると食費が抑えられますし、塩やたんぱく質の量も調整できるからです。生活の摂生に努めていきたいです。

MAHESA PAMUNGKAS SUGIHARTO/マヘサ パムンカス スギハルト (インドネシア)

明治大学 経営学部 経営学科 1年生

- ①たくさんビジネスに関する本を読んだり、ゼミなどにたくさん参加したり、TOEICで満点を取ったり、コネクションを作ったり、色々やりたいです。その上でフィールドワークをやって、ある企業にどのようなビジネス戦略が使われているかを実際に見て考えたいです。
- ②貯金し、より健康にいい食べ物を食べ、充分に睡眠を取り、自分磨きをして、今より良い生活を送りたいです。さらに、サークルに入ってたくさん日本人の友達を作りたいです。今も割と日本人の知り合いがたくさん居ますが、もっと友達が欲しいです。

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン18F

TEL: 03-5656-5297 FAX: 03-3516-6261

URL: http://semmoto.or.jp/

ニュースレター No.4 編集: 千本財団事務局 発行: 2021年4月